■ ニュースと読み物

神鋼・日産 ものづくり信頼失墜　3
□チェコ総選挙で政界が激変　4
□メキシコ地震１カ月の現地　4
□生活保護世帯の大学進学は　5

1952年５月30日第３種郵便物認可　©日本共産党中央委員会2017年

□思いのままに 吉本 実憂さん　9
□ソフトが日本シリーズ進出　7
□生業訴訟 勝利判決の意義　10
◀月曜インタビュー大地真央さん　6
小説　4　囲碁・将棋　8
読者の広場　8　週間日誌　9

しんぶん赤旗
2017年（平成29年）10月23日 月曜日
日刊第24000号
発行所　日本共産党中央委員会
〒151-8586　東京都渋谷区千駄ヶ谷4の26の7
定価（税込み、郵送は別途送料）
日刊　月3497円（本体価格3238円）　1部売り130円
日曜版　月823円（本体価格 762円）　1部売り210円
郵便振替口座　日本共産党中央委員会00180-6-194897
電話　03(3403)6111　ファクス（中央委員会03(5474)8358 赤旗編集局03(3350)1904）　http://www.jcp.or.jp/

沖縄１区で赤嶺再選、共産比例で９議席

総選挙開票すすむ

共闘健闘、立憲民主躍進

志位委員長「共闘勢力増は大変うれしい」

（午前０時15分現在）

市民と野党が共闘し、安倍自公政権と補完勢力に正面対決する選挙戦となった第48回総選挙は22日、投開票されました。日本共産党（公示前21議席）は23日午前０時15分現在で、比例代表で９議席となり、小選挙区では「オール沖縄」の枠組みでたたかった赤嶺政賢氏が沖縄１区で勝利して７選を決め、合わせて10議席を獲得しました。

↓関連❷❶面

当確の報道で、バンザイ三唱をする赤嶺政賢氏（左から５人目）と支援者ら＝22日夜、那覇市

高橋千鶴子氏前 東北ブロック

塩川 鉄也氏前 北関東ブロック

笠井 亮氏前 東京ブロック

自民党は単独で過半数（233）を超え、公明党と合わせ３００議席を超える見通し。一方、市民と野党の本気の共闘でたたかった小選挙区では、野党統一候補が自公連合に競り勝ち、市民連合と７項目の政策合意を結んだ共産、立憲、社民の３党共通の比例代表でも前進することになりました。

その中で、立憲民主党は公示前の15議席を大きく上回る見通しとなりました。

日本共産党の志位和夫委員長は、午後０時25分ごろのテレビ東京のインタビューで、「市民と野党の共闘勢力全体としては議席を大きく増やしたいということは大変うれしいことだと考えています」と表明しました。

安倍内閣支持率が続落する中でしたが、自民党は、大敗に有利な小選挙区制で勝負に出ました。

（同17）の笠井亮氏が５選をそれぞれ果たしました。

北陸信越ブロック（同11）で藤野保史氏、東海ブロック（同21）で本村伸子氏がともに７期目の当選を決めました。近畿ブロック（同28）で穀田恵二氏が９選、宮本岳志氏が４選を果たし、九州・沖縄ブロック（同20）で田村貴昭氏が再選を決めました。

「オール沖縄」は、１区の赤嶺氏とともに、２区の照屋寛徳氏、３区の玉城デニー氏が当選しました。４区は一部自治体の開票が先延ばしされ、議席が確定しませんでした。

市民連合と政策合意を結び、共産党が支援した野党統一候補は、北海道３区、同８区、同11区、東京１区、同18区、新潟１区、同３区、同４区、長野１区、高知２区などで勝利しました。

補完勢力である希望の党は失速し、公示前の57を下回る見通し。

日本共産党は、安倍政権打倒の大局に立って、全国289小選挙区のうち24区での野党候補の一本化のために、67選挙区で候補者を降ろして貢献しました。

↓関連❷❶面

テレビ出演
◇きょう
小池書記局長
「NHKスペシャル」NHKテレビ午後７時半から

質問にこたえる志位委員長＝23日夜、党本部

志位委員長が会見

日本共産党の志位和夫委員長は23日深夜、党本部で記者会見し、次のように述べました。

◇

一、開票の途中ですが、現在までのところ、まず沖縄１区で赤嶺政賢さんの当選を得ることができました。これは「オール沖縄」のみなさんの力を総結集していただいた結果だと思っております。大変大きな勝利だと考えています。

比例代表のほうは、いま開票の途中でありますが、現有の確保は難しい情勢だと考えております。大変残念です。多くの支持者、後援会員、党員のみなさんが大奮闘していただきました。心からお礼を申し上げたいと思います。「比例は共産党」という激励もたくさんいただいた結果だと思っております。大変大きな勝利だと考えています。

比例代表の開票の途中でありますが、記者会見の冒頭に、次のように述べました。

◇

一、開票の途中ですが、現在までのところ、まず沖縄１区で赤嶺政賢さんの当選を得ることができました。これは「オール沖縄」のみなさんの力を総結集していただいた結果だと思っております。大変大きな勝利だと考えています。多くの支持者、後援会員、党員のみなさんが大奮闘していただきました。心からお礼を申し上げたいと思います。「比例は共産党」という激励もたくさんいただいた結果だと思っております。大変残念です。

一、同時に、今度の選挙で私たちは、市民と野党の共闘で選挙をたたかうということをやってきました。三つの野党と共産、立憲、社民の３野党と市民連合のみなさんと７項目の政策合意を結んで協力して選挙をたたかってきました。

そういうなかで立憲民主党が大きく躍進して、共闘勢力全体としては、議席を大きく増やすことができたことは、私たちにとっても大きな喜びです。

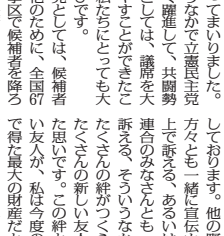
共産党としては、候補者の一本化のために、全国67の小選挙区で候補者を降ろすという決断をいたしましたが、この決断がこういう結果をつくるに一つの貢献になったと考えております。こういう決断をしたことはよかったというふうに考えているところです。

私は、選挙戦を振り返って、三つの野党プラス市民連合と連携してたたかうなかで、全国どこでも、いたるところで「共闘の絆」、「連帯の絆」がたくさんつくられたということを実感しております。他の野党の方々とも一緒に宣伝カーの上で訴える、あるいは市民連合のみなさんとも一緒に訴える、そういうなかで、たくさんの絆がつくられ、たくさんの新しい友人を得たと思います。この絆と新しい友人が、私は今度の選挙で得た最大の財産だと考えております。これは必ず、今後のたたかいに生きると考えております。新しい国会で公約実現のために全力をあげてがんばる決意を申し上げたいと思います。

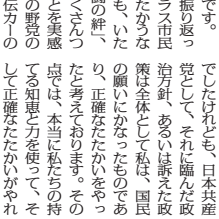
一、選挙戦全体を振り返ってみて、突発的な総選挙でしたけれども、日本共産党として、それに臨んだ政治方針、あるいは訴えた政策は全体として私は、国民の願いになったものであり、正確なたたかいをやったと考えております。その点では、本当に私たちの持てる知恵と力を使って、そして正確なたたかいができたと考えております。

今後のたたかいでは、私たちの共産党としては、市民と野党の共闘のこういう財産も大事にしながら、さらに本格的に発展するために力をつくしたいと考えております。

一、選挙戦の結果について、私たちの力不足だと考えております。力をつけて捲土重来を期したいと考えております。



台風が北上して次第に北海道へ近づきます。広い範囲で雨や風が強まり荒れた天気になります。また、北海道には寒気が入るため内陸部を中心に雪が降り、平地でも積雪のおそれ。



22日18時　気象衛星の赤外画像

天気

気温上：最高　下：最低（日本気象協会・17時）

	午前	午後	夜	降水確率(%) 0-6	6-12	12-18	18-24	気温(℃) 24	25	26
札幌	90	90	90	10	10	10	10	17	10	8
釧路	90	90	90	10	10	10	10	16	10	8
青森	90	90	90	10	10	10	10	18	11	8
盛岡	90	90	90	10	10	10	10	19	11	8
仙台	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
秋田	90	90	90	10	10	10	10	19	11	8
山形	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
福島	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
新潟	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
富山	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
金沢	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
福井	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
水戸	90	60	60	10	10	10	10	20	12	9
宇都宮	90	60	60	10	10	10	10	20	12	9
前橋	90	70	70	10	10	10	10	20	12	9
さいたま	90	50	50	10	10	10	10	20	12	9
千葉	90	50	50	10	10	10	10	20	12	9
東京	90	50	50	10	10	10	10	20	12	9
横浜	90	50	50	10	10	10	10	20	12	9
甲府	90	50	50	10	10	10	10	20	12	9
長野	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
静岡	90	40	40	10	10	10	10	20	12	9
名古屋	90	20	20	10	10	10	10	20	12	9
岐阜	90	60	60	10	10	10	10	20	12	9
津	90	50	50	10	10	10	10	20	12	9
大津	90	70	70	10	10	10	10	20	12	9
京都	90	80	80	10	10	10	10	20	12	9
大阪	90	60	60	10	10	10	10	20	12	9
奈良	90	60	60	10	10	10	10	20	12	9
和歌山	90	50	50	10	10	10	10	20	12	9
神戸	90	60	60	10	10	10	10	20	12	9
岡山	90	20	20	10	10	10	10	20	12	9
広島	90	20	20	10	10	10	10	20	12	9
鳥取	90	90	90	10	10	10	10	20	12	9
松江	90	70	70	10	10	10	10	20	12	9
山口	90	60	60	10	10	10	10	20	12	9
徳島	90	30	30	10	10	10	10	20	12	9
高松	90	20	20	10	10	10	10	20	12	9
松山	90	20	20	10	10	10	10	20	12	9
高知	90	20	20	10	10	10	10	20	12	9
福岡	90	50	10	10	10	10	10	20	12	9
佐賀	90	10	10	10	10	10	10	20	12	9
長崎	90	10	10	10	10	10	10	20	12	9
熊本	90	10	10	10	10	10	10	20	12	9
大分	90	0	0	10	10	10	10	20	12	9
宮崎	90	0	0	10	10	10	10	20	12	9
鹿児島	90	10	10	10	10	10	10	20	12	9
那覇	90	20	20	10	10	10	10	20	12	9

潮流

いつも笑っていた右目のおじぞうが仁王のように。原爆が落とされた広島で、死にゆく少女を前に顔が変わっていく絵本『おこりじぞう』。悲しみと怒りを込めた絵を描いたのが四国十郎です▼広島で生まれ、「満州」出征後、シベリアに抑留。48年に壊滅した故郷の土を踏みました。弟の被爆死に衝撃を受けた五郎は３年前にになるまで、反核や平和をテーマにした膨大な絵や詩を残しています▼いま東京・世田谷区の平和資料館で四国五郎の作品展が開かれています。展示品の中には峠三吉とつくった「辻詩」と呼ばれる反戦反核ポスターも。期間中に催された女優の木内みどりさんによる『おこりじぞう』の朗読会には親子連れの姿もありました▼敗戦から70年余がすぎた現在も草の根で語り継がれる戦争や原爆の悲惨さ。今年は人類が初めて到達した核兵器禁止条約の採択や世界中で核兵器廃絶を働きかける国際連合「ICAN」のノーベル平和賞受賞と運動に弾みがついています▼20日に83歳になった皇后・美智子さんも平和にふれ、核兵器の非人道性に「ようやく世界の目が向けられたことには大きな意義があった」と日本の被爆者の心がたたかいの連帯をつくる「報復」にではなく、将来の平和の希求へと向けられてきたことに世界の目が注がれることを願う、と▼「おこりじぞう」をふたたび「わらいじぞう」に。被爆者を先頭に長きにわたる努力のつながりは、日本政府をはじめ禁止条約に背を向ける国ぐにを包囲しています。（2017・10・23）